

2014年「東アジア文化都市」

概要

- 日中韓文化大臣会合での合意に基づき、文化芸術の力を活かして発展を目指す都市を「東アジア文化都市」として選定。
- 2014年1月以降、現代の芸術文化から伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術事業を実施。
- 事業を通じ、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成の促進、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図る。また、当該都市がその文化的特徴を活かし、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を図り、継続的に発展することも目的。

経緯

- 2011年1月の第3回日中韓文化大臣会合（日本・奈良）：日本側から本件実施を提案。
- 2012年5月の第4回日中韓文化大臣会合（中国・上海）：2014年からの開始に合意し、同会合の成果文書である「上海行動プログラム」にその旨を記載。

都市の選定方法等

- 開始年である2014年は、日中韓各国1都市ずつ合計3都市を選定。
- 日本は横浜市、韓国は光州広域市をそれぞれ2014年国内候補都市に決定。
（中国は現在選定中。）
- 2015年以降は、日中韓3か国の中から毎年1都市を選定。
- 今後本年中に開催される日中韓文化大臣会合において、2014年「東アジア文化都市」が正式に決定・公表される予定。



2014年「東アジア文化都市」事業計画(案)



開会イベント(2014年1月～3月)

文化施設や屋外広場等で、演奏会や舞台芸術公演、美術作品展示等を内容とする文化都市の開始を告げる開会イベントを実施。

中核(コア)期間中の事業例(2014年秋頃)

- 東アジア域内の芸術家が参加する共同制作や交流事業
 - ・中国、韓国の劇場等と舞台芸術作品の共同制作を行い、3か国の劇場で公演を実施。
 - ・日中韓をはじめ東アジア地域内の文化・創造都市が参加する国際会議を開催。



- ヨコハマトリエンナーレ2014(会期:8月1日～11月3日)
3年ごとに開催する、日本を代表する現代アートの国際展。



- その他、期間中に実施される事業例
 - ・アーティスト・イン・レジデンス
 - ・こどもを対象とした芸術体験プログラム
 - ・横浜ジャズプロムナード等の既存事業の活用 等



閉会イベント(2014年12月)

次期開催都市へつなぐ閉会イベントを実施。